

購読の申し込みは
日本医労連へ

購読料 年間1,500円(送料込)
(組合員の購読料は組合費に含む)
送金口座 中央労金荒川支店(普通預金)1123296
郵便振替 00160-6-84866

ホームページ <http://www.irouren.or.jp/>
電子メール n-ask@irouren.or.jp

医療労働者

医療・介護・福祉労働者の生活と権利、国民の命と健康を守る

第1780号 2022年6月9日

編集・発行
日本医療労働組合連合会
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5
日本医療労働会館3階 TEL03(3875)5871
発行 毎月2・4木曜日

(昭和36年9月15日)
(第三種郵便物認可)



新「いのち署名」45万7390筆
「介護署名」41万7019筆
国会へ

5月26日、日本医労連は中央社保協、全労連、自治労連、全日本民医連と共同で、新「いのち署名」や「介護署名」等を提出する国会行動を衆院第一議員会館で行いました。

署名提出行動には、会場とオンライン参加を含め150人以上が参加。立憲民主党、国民民主党(無所属会派)、日本共産党から、合計12人の国会議員が激励に駆け付けました。

集会では、各団体代表が実態を報告。日本医労連・佐々木悦子中央執行委員長は、3

月〜4月に取り組んだ「新型コロナウイルス感染症に関する緊急実態調査」の結果に触れながら、「政府の無為無策によって国民生活も医療・介護現場も大変厳しい状況に置かれている」「政治を変えて、社会保障を充実させ、安全・安心の医療・介護を実現させましよう」と呼びかけました。

当日までの署名集約数は、安全・安心の医療・介護などを求める新「いのち署名」45万7390筆、「介護署名」41万7019筆、「75歳以上の医療費2倍化中止を求める署名」70万3419筆でした。

国会議員要請では、徳島・井上純書記長が仁木博文衆議院議員(徳島選出)を訪問。懇談を行い、介護署名を手渡しました。また、地元議員事務所を訪問し、紹介議員を応諾いただいた自民党・岩屋毅

衆議院議員(大分選出)には、佐々木悦子中央執行委員長と油石博敬書記次長が訪問。医療・介護現場の実態を伝え、懇談しました。

全日本民医連・山本淑子事務局次長は閉会のあいさつで、「署名は数も大切ですが、国会でどのようなことが議論されているかを伝える大切な役割をもっています。また、『うちの前の病院がなくなっ

てしまつかもしれない』『これ以上負担が増えたら医療にかかれない』などの不安な思いを抱えている人たちが、その思いを署名に託し、私たちが国会に持つてくることで、訴えられない人たちの一つ一



仁木博文議員に署名を手渡す
徳島・井上書記長と寺田中執

つの思いを束ねて社会を変えていく力もあります。いま、戦争する国づくりをするめるのか、私たちのいのちをまもる政治に変えていくのか

きです。軍事費を増やすのか、いのちをまもるためにお金を使うのかが問われるのが7月の参議院選挙です。それぞれ地域に戻って、



岩屋毅議員と懇談する佐々木委員長と油石書記次長



脈路

昨年、映画「MINAMATA」が公開された。写真家ユージンスミスが見た1970年代の水俣を取り上

紹介・賛同議員116人応諾一覧									
●紹介議員○賛同のみ									
櫻井 周	立民	(比)近畿	●	有田 芳生	立憲	比例	●	参議院	●
緑川 貴士	立民	(比)秋田2	●	石垣 のりこ	立憲	宮城	●		●
柚木 道義	立民	(比)中国	●	市田 忠義	共産	比例	●		●
野間 健	立民	鹿児島3	●	伊藤 岳	共産	埼玉	●		●
務台 俊介	自民	(比)北陸信越	○	井上 哲士	共産	比例	●		●
末次 精一	立民	(比)九州	●	石井 浩郎	自民	秋田	○		●
本村 伸子	共産	(比)東海	●	伊波 洋一	沖縄	沖縄	●		●
牧 義夫	立民	(比)東海	●	岩淵 友	共産	比例	●		●
北神 圭朗	有志	京都4	●	打越 さく良	無	新潟	●		●
米山 隆一	立民	新潟5	●	嘉田 由紀子	碧水	滋賀	●		●
福田 昭夫	立民	栃木2	●	紙 智子	共産	比例	●		●
白石 洋一	立民	(比)四国	●	木戸口 英司	立憲	岩手	●		●
馬淵 澄夫	立民	奈良1	●	木村 英子	れ新	比例	●		●
徳永 久志	立民	(比)近畿	●	吉良 よし子	共産	東京	●		●
道下 大樹	立民	北海道1	●	倉林 明子	共産	京都	●		●
渡辺 創	立民	宮崎1	●	小池 晃	共産	比例	●		●
田中 健	国民	(比)東海	●	杉尾 秀哉	立憲	長野	●		●
田村 貴昭	共産	(比)九州	●	大門 実紀史	共産	比例	●		●
長坂 康正	自民	愛知9	●	高良 鉄美	沖縄	沖縄	●		●
中川 貴元	自民	(比)東海	●	田島 麻衣子	立憲	愛知	●		●
大石 晃子	れ新	(比)近畿	●	武田 良介	立憲	比例	●		●
大河原まさこ	立民	(比)東京	●	田名部 匡代	立憲	青森	●		●
早稲田 ゆき	立民	神奈川4	●	田村 智子	共産	比例	●		●
浅川 義治	維新	(比)南関東	○	寺田 静	無	秋田	●		●
赤瀬 政賢	共産	沖縄1	●	古賀 之士	立憲	福岡	●		●
石川 香織	立民	北海道11	●	徳永 エリ	立憲	北海道	●		●
青柳 陽一郎	立民	(比)南関東	●	ながえ 孝子	碧水	愛媛	●		●
青山 大人	立民	(比)北関東	●	野田 国義	立憲	福岡	●		●
仁木 博文	有志	徳島1	●	芳賀 道也	国民	山形	●		●
神津 たけし	立民	(比)北陸信越	●	羽田 次郎	立憲	長野	●		●
神谷 裕	立民	(比)北海道	●	鉢呂 吉雄	立憲	北海道	●		●
新垣 邦男	立民	沖縄2	●	福島 みずほ	社民	比例	●		●
松木けんこう	立民	北海道2	●	船後 靖彦	れ新	比例	●		●
小沢 一郎	立民	(比)東北	●	川田 龍平	立憲	比例	●		●
小川 淳也	立民	香川1	●	舟山 康江	国民	山形	●		●
小熊 慎司	立民	福島4	●	真山 勇一	立憲	神奈川	●		●
重徳 和彦	立民	愛知12	●	宮口 治子	立憲	広島	●		●
篠原 豪	立民	神奈川11	●	宮沢 由佳	立憲	山梨	●		●
篠原 孝	立民	(比)北陸信越	●	森 ゆうこ	立憲	新潟	●		●
寺田 稔	自民	広島5	○	山下 芳生	共産	比例	●		●
寺田 学	立民	(比)東北	●	山添 拓	共産	東京	●		●
志位 和夫	共産	(比)南関東	●	三木 亨	自民	比例	○		●
山崎 誠	立民	(比)南関東	●	横沢 高德	立憲	岩手	●		●
山崎 達丸	立民	北海道9	●						
斎藤アレックス	国民	(比)近畿	●						
斎藤 洋明	自民	新潟3	●						
佐藤 公治	立民	広島6	●						
穀田 恵二	共産	(比)近畿	●						
高橋 千鶴子	共産	(比)東北	●						
荒井 優	立民	(比)北海道	●						
神田 憲次	自民	愛知5	●						
源馬 謙太郎	立民	静岡8	●						
近藤 昭一	立民	愛知3	●						
宮本 岳志	共産	(比)近畿	●						
宮本 徹	共産	(比)東京	●						
吉良 州司	有志	大分1	●						
吉田 統彦	立民	(比)東海	●						
吉川 元	立民	(比)九州	●						
菊田 真紀子	立民	新潟4	●						
岩屋 毅	自民	大分3	●						
岸本 周平	国民	和歌山1	●						
鎌田 さゆり	立民	宮城2	●						
笠井 亮	共産	(比)東京	●						
笠 浩史	立民	神奈川9	●						
下条 みつ	立民	長野2	●						
岡本 あき子	立民	(比)東北	●						
奥野 総一郎	立民	千葉9	●						
塩川 鉄也	共産	(比)北関東	●						
稲富 修二	立民	(比)九州	●						
井坂 信彦	立民	兵庫1	○						
伊藤 忠彦	自民	愛知8	●						
逢坂 誠二	立民	北海道8	●						
阿部 知子	立民	神奈川12	●						

安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(紹介・賛同議員一覧) 6月6日時点

介護・福祉版

新型コロナアンケート結果
国の責任で体制充実・財政補償を▼職員・利用者に感染または感染疑い者が
いる・いた時期があった

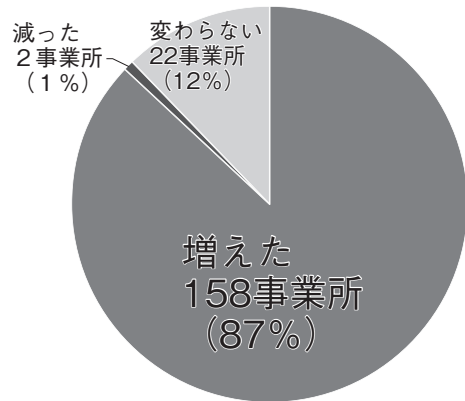
	2020年(4月)	2021年(4月)	2022年(4月)
職員	0% (0/189)	22% (30/135)	71% (129/182)
利用者	6% (11/189)	31% (42/135)	62% (113/182)

日本医労連は5月26日、高齢福祉・障がい福祉・児童福祉事業所を対象に、3回目となる、「2022年新型コロナウイルス対策に関するアンケート調査」結果について、厚生労働省内で記者発表を行いました。



〔調査期間〕2022年1月1日～3月31日
〔回収数〕182事業所（昨年135事業所）
〔回答内訳〕高齢者福祉165件、障がい福祉14件、児童福祉3件

▼業務負荷の増減



新型コロナウイルス感染状況について、「職員・利用者に感染または感染疑い者がいる・いた時期があったか」の

調査結果概要

新型コロナウイルス感染状況について、「職員・利用者に感染または感染疑い者がいる・いた時期があったか」の

不足しているものは、昨年アンケートの、5つの不足(衛生物資、体制、補償、設備、情報)が今回

調査でも完全に解消はしておらず、体制不足は115

不足しているものは、昨年アンケートの、5つの不足(衛生物資、体制、補償、設備、情報)が今回

調査でも完全に解消はしておらず、体制不足は115

不足しているものは、昨年アンケートの、5つの不足(衛生物資、体制、補償、設備、情報)が今回

調査でも完全に解消はしておらず、体制不足は115

不足しているものは、昨年アンケートの、5つの不足(衛生物資、体制、補償、設備、情報)が今回

調査でも完全に解消はしておらず、体制不足は115

不足しているものは、昨年アンケートの、5つの不足(衛生物資、体制、補償、設備、情報)が今回

調査でも完全に解消はしておらず、体制不足は115

不足しているものは、昨年アンケートの、5つの不足(衛生物資、体制、補償、設備、情報)が今回

調査でも完全に解消はしておらず、体制不足は115

不足しているものは、昨年アンケートの、5つの不足(衛生物資、体制、補償、設備、情報)が今回

調査でも完全に解消はしておらず、体制不足は115

不足しているものは、昨年アンケートの、5つの不足(衛生物資、体制、補償、設備、情報)が今回

調査でも完全に解消はしておらず、体制不足は115

不足しているものは、昨年アンケートの、5つの不足(衛生物資、体制、補償、設備、情報)が今回

調査でも完全に解消はしておらず、体制不足は115

不足しているものは、昨年アンケートの、5つの不足(衛生物資、体制、補償、設備、情報)が今回

調査でも完全に解消はしておらず、体制不足は115

不足しているものは、昨年アンケートの、5つの不足(衛生物資、体制、補償、設備、情報)が今回

調査でも完全に解消はしておらず、体制不足は115

不足しているものは、昨年アンケートの、5つの不足(衛生物資、体制、補償、設備、情報)が今回

調査でも完全に解消はしておらず、体制不足は115

不足しているものは、昨年アンケートの、5つの不足(衛生物資、体制、補償、設備、情報)が今回

調査でも完全に解消はしておらず、体制不足は115

職員の体制不足に拍車

利用者のフレイル(機能低下)も

今回の調査は、今般のコロナ禍で「介護・福祉事業所が困っていること」「国や自治体に求めていること」「知らせたいこと」を国や自治体に求めることを目的としました。

会見冒頭で、佐々木悦子中央執行委員長は、「1月のオミクロン株の爆発的な感染拡大でもたしても医療体制がひっ迫し、入院できずに介護施設で陽性患者を看るをえないう状況があった。人手不足の中さらに個別の介護が必要となり、精神的にも大きな負担となった」としたうえで政府の無為無策が現場に負担をあて、この2年以上まったく改善されていないと訴えました。

今回の調査は、今般のコロナ禍で「介護・福祉事業所が困っていること」「国や自治体に求めていること」「知らせたいこと」を国や自治体に求めることを目的としました。

会見冒頭で、佐々木悦子中央執行委員長は、「1月のオミクロン株の爆発的な感染拡大でもたしても医療体制がひっ迫し、入院できずに介護施設で陽性患者を看るをえないう状況があった。人手不足の中さらに個別の介護が必要となり、精神的にも大きな負担となった」としたうえで政府の無為無策が現場に負担をあて、この2年以上まったく改善されていないと訴えました。

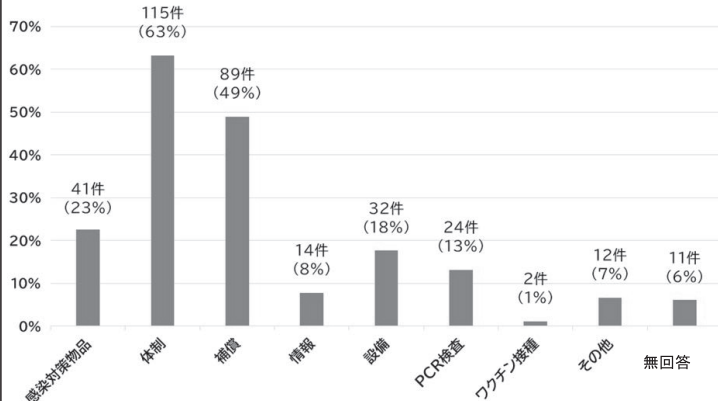
今回の調査は、今般のコロナ禍で「介護・福祉事業所が困っていること」「国や自治体に求めていること」「知らせたいこと」を国や自治体に求めることを目的としました。

会見冒頭で、佐々木悦子中央執行委員長は、「1月のオミクロン株の爆発的な感染拡大でもたしても医療体制がひっ迫し、入院できずに介護施設で陽性患者を看るをえないう状況があった。人手不足の中さらに個別の介護が必要となり、精神的にも大きな負担となった」としたうえで政府の無為無策が現場に負担をあて、この2年以上まったく改善されていないと訴えました。

今回の調査は、今般のコロナ禍で「介護・福祉事業所が困っていること」「国や自治体に求めていること」「知らせたいこと」を国や自治体に求めることを目的としました。

会見冒頭で、佐々木悦子中央執行委員長は、「1月のオミクロン株の爆発的な感染拡大でもたしても医療体制がひっ迫し、入院できずに介護施設で陽性患者を看るをえないう状況があった。人手不足の中さらに個別の介護が必要となり、精神的にも大きな負担となった」としたうえで政府の無為無策が現場に負担をあて、この2年以上まったく改善されていないと訴えました。

▼不足しているもの【複数回答】



厚労省要請

福祉部会

安全安心の障害・児童福祉の実現へ

日本医労連・福祉部会は、5月20日、障害者や児童福祉をめぐる課題についてオンラインで厚労省に要請しました。

要請には、福祉部会長や運営委員7人が参加し、厚労省は労働基準局、家庭福祉局などが対応しました。

交渉では、福祉・介護職員の処遇改善について、「これまで複数回実施し、22年2月からは処遇改善補助事業を実施している」と回答。また、職員の離職防止・人材確保について、「腰痛予防など取り組みをすすめている」とし、要請団は、現場実態から処遇改善の必要性や、職場崩壊を招かないためにもメンタル対策や人員配置の引き上げ実施などを求めました。

集約した「児童・障害福祉施設の人員配置の引き上げを求める団体署名」285団体分は、厚生労働省大臣官房総務課に提出しました。

集約した「児童・障害福祉施設の人員配置の引き上げを求める団体署名」285団体分は、厚生労働省大臣官房総務課に提出しました。

ケアワークは社会の基盤

第33回児童・障がい福祉労組全国学習交流集会

5月23日、「第33回障がい者・児童福祉労組 全国学習交流集会」がオンライン併用で開催され、2全国組合7県医労連27人が参加しました。

学習講演
Who Cares? ジェンダー平等と女性の支援
ケアの視点から
岡野八代氏(同志社大学大学院グローバルスタディーズ研究科教員)

講演では、コロナ禍を通じて、世界では、ケアワークは経済を機能させるために重要であると提唱されており、その「利益」は、社会全体に利益をもたらしているとししました。その上で、ケアワークは

社会の基盤となっているにも関わらず、日本ではロシアのウクライナ侵攻を巡って、これまで増え続けてきた防衛費を2倍化しようとするなど、ケアワークを担う人へのケア(対応)が後回しにされているとししました。

また、市場に価格がつかにくい特徴を持つケアの報酬は、公的に決定することしかなく、低報酬に抑えられている原因は政府にあると強調しました。最後に、ケアを大切にすることは、だれもが大切にされる民主主義への近道であることを話し講演を終えました。



また、市場に価格がつかにくい特徴を持つケアの報酬は、公的に決定することしかなく、低報酬に抑えられている原因は政府にあると強調しました。最後に、ケアを大切にすることは、だれもが大切にされる民主主義への近道であることを話し講演を終えました。

また、市場に価格がつかにくい特徴を持つケアの報酬は、公的に決定することしかなく、低報酬に抑えられている原因は政府にあると強調しました。最後に、ケアを大切にすることは、だれもが大切にされる民主主義への近道であることを話し講演を終えました。

また、市場に価格がつかにくい特徴を持つケアの報酬は、公的に決定することしかなく、低報酬に抑えられている原因は政府にあると強調しました。最後に、ケアを大切にすることは、だれもが大切にされる民主主義への近道であることを話し講演を終えました。

また、市場に価格がつかにくい特徴を持つケアの報酬は、公的に決定することしかなく、低報酬に抑えられている原因は政府にあると強調しました。最後に、ケアを大切にすることは、だれもが大切にされる民主主義への近道であることを話し講演を終えました。

杉本綾さん過労自死事件民事訴訟

和解が成立

5月24日 札幌地裁



KKR札幌医療センターに就職した杉本綾さんが就職後8カ月で過労自死した事件。2018年に労災認定されたことをうけ、遺族が損害賠償を求めていた訴訟は、5月24日札幌地裁で和解が成立しました。綾さんがいのちを絶たれてから約10年。長いたたかいが終結しました。同日おこなわれた報告集会で島田度弁護士が、綾さんの自死が業務に起因することを真摯に受け止め、綾さんと遺族に哀悼の意を表明すること、時間外労働の削減に努め、とりわけ新人看護師が過重労働とならないよう配慮するとする和解内容について報告。原告である綾さんのお母さんはお礼のあいさつに立ち「綾の事件の結果が今後の医療現場の仕事へのやりがいや生きることへの力となることを願っています」と話しました。

同日おこなわれた報告集会で島田度弁護士が、綾さんの自死が業務に起因することを真摯に受け止め、綾さんと遺族に哀悼の意を表明すること、時間外労働の削減に努め、とりわけ新人看護師が過重労働とならないよう配慮するとする和解内容について報告。原告である綾さんのお母さんはお礼のあいさつに立ち「綾の事件の結果が今後の医療現場の仕事へのやりがいや生きることへの力となることを願っています」と話しました。



石川



石川では、5月14日、ドクター・ナース・介護ウエーブを金沢市武蔵エムザ前で、17人が参加しました。1時間の宣伝で、新「いのち署名」20筆、「国立医療の充実を求める署名」が10筆集まり、ウクライナ募金は1820円ご協力いただきました。



北海道

道北勤医労：左から村岡さん・武田さん・長瀬さん
道医労連：田村書記次長

全国各地で 5月介護アクション 大幅増員・処遇改善を！

5月「介護を良くするアクション月間」では、コロナ禍でむかえる3回目の行動として、感染対策に留意しながら全国各地で工夫した取り組みが行われました。



トークセッション形式で現場の実態を訴える参加者（＝8日、上野駅前）

東京では、5月8日、第8回ヘルパー講座として「介護のしやり場」を開催し、5組合13人が参加しました。意見交流や「見せましょ！署名の力」の学習会を行い、月替わりのお土産として、参加者には柏餅が配られました。

集会後、上野駅前「介護保険制度の抜本的転換を求める請願署名」と「都立病院独法化中止を求める請願署名」を集め、宣伝をトークセッション形式で行いました。参加者は、政府が介護職に出すと言った1人9千円の補助金「私はゼロ円」「私



お土産の柏餅

地域医療守り 充実させよう

自治体・公立病院労組



5月21日、オンライン併用で「自治体・公立病院労組全国交流集会」が開催されました。8県23人が参加しました。

記念講演
NPO法人・医療制度研究会
副理事長 本田宏氏

記念講演では、消費税増税のたびに社会保障が切り下げられている社会のしくみを変えていくために、時の政権に騙されないこと、医療の安全と質の向上を目指して、絶対にあきらめないことが大切であると訴えられました。

指定報告

指定報告では、会計年度任用職員制度に関する取り組みの課題として、愛知・豊橋市職員労働組合病院支部から、処遇改善交渉で会計年度任用職員に対しても、均等配分を勝ち取ったことについて報告がありました。岩手県医療局労働組合からは、会計年度任用職員の導入がされても賃金水準は改善されず、恣意的な評価制度で任用が打ち切られ、中断が問題となっているとの指摘がされました。

より良い精神医療を

5月25日、日本医労連精神部会は、オンラインで厚生労働省交渉を行いました。はじめに、佐々木和敏部会長から挨拶を行い、回答を受けながら意見交換を行いました。

交渉では、精神科の人員配置・診療報酬を一般科と同等以上に引き上げることが良質な精神科医療の実現につながることや、状態に応じた療養環境の整備が早期退院や行動制限の最小化に繋がることが訴えられました。

精神部会が厚労省交渉・署名提出

患者・家族本位の精神科医療の実現を

署名1万筆提出

厚労省交渉後、「精神保健医療福祉の改善を求める国会請願署名」の紹介議員24名に署名提出行動を行いました。以前から継続の紹介議員に加え、新たな紹介議員に対し、精神科医療の現状を伝えながら、全国から集まった約1万筆の署名を紹介議員に届けました。

に精神疾患が増えていることから、若年層向けの啓発活動の強化と精神疾患そのものに対する理解を深める取り組みの強化を求めました。

コロナ対策に関しては、精神科病院で起きたクラスターの状況を報告しました。防護服などの不足が深刻な状況を招いたことや財政措置が不十分な実態を伝え、医療従事者のメンタルヘルス対策について強化を求めました。



5月22日、日本医労連・青年協議会は「青年学習交流集会」をオンライン開催しました。4全国組合22県医労連から47人が参加しました。

青年 職場の「おかしい」を 労働組合で変えよう

開会にあたり、小村智也議長が挨拶を行い、全労連・黒澤幸一事務局長から「職場の『おかしい』を労働組合で変えるために」と題して講演をいただきました。

黒澤さんは、「賃上げ・労働条件改善・増員を実現するために、労働組合の権利であるストライキを構え、声をあげることが労使の力関係を対等にする唯一の方法である」と強調し、「役員だけの団体交渉はできるだけ避けること。数の力は、使用者に前進回答を引き出させる。組合員からは、団体交渉に参加することで組合活動への納得を得られる」と語りました。

分散会では、JAMボード(Web上のホワイトボード)を活用し、職場内の「おかしい」の交流と解決に向けた意見交換を行いました。

交流企画では、オンラインレクリエーションとして「借

●4月より兄弟で同じ職場で働いています。コロナ禍で大変ですが、兄弟がいるので、心強いです。

(秋田・匿名希望)

●介護職員の抜本的処遇改善を！同一労働、同一賃金も絵



に描いた餅です。一時的な補助金ではなく、普通に暮らせる賃金を！」

(群馬・石倉和美)

●コロナ禍で運動をしなくなり不調を実感：そろそろ、ヨ力通いを始め心身共に調子がいいです。

(兵庫・匿名希望)

●コロナ禍の中、毎日奮闘している組合員さんを見て、こうした人たちの奮闘で市民の安心安全な医療が守られている。

(愛知・小笠原佳愛)

【パズル解答】1777号の答えは「チヤツミウタ」でした。正解者の中から抽選でクオカードを贈呈します。

【応募方法】①組合(病院)名、②職種、③氏名、④郵便番号、⑤住所を記入し、解答を7/6(水)までにこの応募ください。「読者のページ」もご寄稿下さい。

【応募先】〒110-0013 台東区入谷1-9-5
「日本医労連教育宣伝局」
FAX: 03-3875-6270
E-mail: n-ask@irouren.or.jp

■ヨコのカギ

- 1 いんちきのこと
- 4 雨の日は高いですね
- 7 絡まりながらぐんぐんと伸びていきます
- 8 ……入りかと思われた難事件が解決しました
- 10 すりむいた。……傷
- 12 全勝力士に……が付く
- 13 市民への……攻撃は許せません
- 15 よい行い。……を積む
- 16 積もると山になる？
- 17 手紙に書き加えました
- 19 岸からは遠いです
- 20 ……先発はあの投手
- 22 物事をなしとげる力
- 25 四つの胃を持ちます
- 26 左側に両目があります
- 27 18、19歳も……です



- 【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに？
- ……
- タテのカギ
- 1 俳句集「おらが春」といえば小林……
 - 2 蝸牛って読めますか？ジャックが登ったのは……の木
 - 3 建物建てる土地じめじめしますね
 - 4 子どものような顔二つで一組です
 - 5 雨が上がっても忘れな
 - 6 いでね
 - 7 別れて住もうか
 - 8 長野市、お寺といえ
 - 9 6月第3日曜日
 - 10 ……見、……代、……期化
 - 11 ……正しくあいさつ
 - 12 ……さんたん
 - 13 ……の……は表
 - 14 ……なくて七……

アンケートを活用 松江保健生協労組

アンケートにひと工夫

新歓での新人加入にむけて取り組んだ「みんなの助けあいアンケート」は6月6日現在4650人が集約されました。

その取り組みの中で島根・松江保健生協労組ではアンケート用紙にひと工夫して、アンケート用紙裏面に自動車共済のアンケート項目をつくり、自動車の所有状況や保健満期月、見積もりの希望を集約しています。

自動車所有率91%

松江保健生協労組でアンケート回答した新

医労連共済だより

人は33人です。そのうち自動車を所有しているのは30人で、所有率は91%でした。地方都市ならではの高い所有率です。

また、いま加入している保険の満期月の質問では、所有している30人のうち「わからない」との回答は、13人・43%にのぼりました。満期月を回答した17人中、3月が4人で、秋から春にかけて加入が多い傾向です。

見積り希望では4人の方が希望されました。職場全体で取り組めば、見積り希望者の掘り起こしが期待できる結果となりました。

医療の眼

自由と平和と豊かさを求めて

沖縄の本土復帰50年に思う 「命どう宝」

「これで自由な組合運動ができる」と。

基地のない平和な沖縄へ

77年前、青い空と紺碧の海と緑の大地が戦場と化し、恐怖と悲しみの色に代わりました。消えていった15万人の命。

そこから始まったものは、米国による占領統治と基地のない平和な島を願い「沖縄を取り戻す」県民のたたかいでした。

1972年5月15日、沖縄はようやく本土に復帰しましたが、復帰以降も日米安保条約と地位協定によって基地は残り続け、それによる被害と命に關わる危険に、日常的にさらされています。

「基地のない平和な沖縄へ戻る」そのことこそが真の復帰を実現することであつたはずですが、しかし日本政府は、その県民の声を背向け、民意を踏みにじり続け、基地を拡大させています。

いま、全国の在日米軍基地の7割が沖縄に集中しています。5月10日に沖縄県が日本政府に対し「平和で豊かな沖縄の実現に向けた新たな建議書」を提出し、「基地のない平和な島に向け、日米地位協定の抜本的な見直し、辺野古新基地建設の断念」などを訴えています。

戦争の惨禍を経験する中で、本土復帰から50年、そして憲法施行から75年のいまも、沖縄では、平和に生きる権利や基本的人権が侵され、いのちが脅かされ続けています。

私たちの持つ武器を盾に

ロシアによるウクライナへの軍事侵略により、平和な日常が戦火に包まれ、大切ないのちが奪われています。そしてこの日本では、それに乗じて、軍事を拡大し、憲法を改正して戦争できる国にしようとしています。

沖縄・奄美を含む南西諸島でも、ミサイル基地化がすすみ、「中国脅威論」と対峙する自衛隊の配備が始まっています。自然豊かで平和な島が、いのちを奪う拠点に変貌しつつあります。自由や豊かさ、当たり前前の日常も、一度失ってしまえば簡単に取り戻せないことは、沖縄をひとつとっても明白です。

憲法で保障された労働組合活動が自由にでき、18歳以上は男女ともに選挙権があり、憲法9条があるというこの武器を力に、声をあげ、行動を起こし、変えていきたいと思います。「命どう宝」、「命こそ宝」と胸を張って言える政治へ。

川上真理